

マルチパーカッションラック

MULTI-FRAME PARTS

MULTIPLER BEFESTIGUNGSRAHMEN

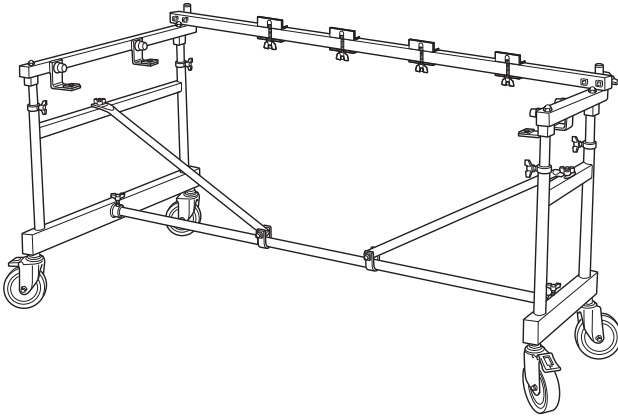
CHÂSSIS MULTI SUPPORT

SOPORTE BASTIDOR MULTIPERCUSIÓN

組合支架 ( 配件 )

멀티 프레임 부품

# RD500



シロフォン

XYLOPHONE

XYLOPHON

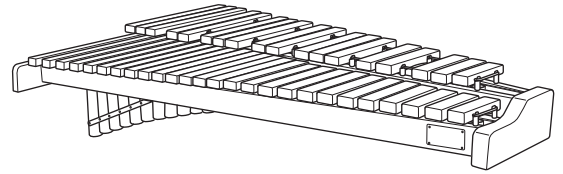
XYLOPHONE

XILÓFONO

木琴

실로폰

# YX500FT



『安全へのこころがけ』および『ガススプリング取り扱いに関する注意事項』を必ずお読みください。

Carefully read the contents of this manual, especially all precautions.

Lesen Sie unbedingt die „Vorsichtshinweise für die Handhabung der Gasfeder“ und die „Vorsichtsmaßnahmen“.

Lire attentivement les paragraphes « Précautions de manipulation du ressort à gaz » et « Précautions à observer ».

Lea sin falta las “Precauciones para la manipulación del muelle de gas” y las “Precauciones”.

务请阅读“气弹簧支架操作注意事项”和“注意事项”。

“가스 스프링 취급상의 주의사항” 및 “주의사항” 을 반드시 읽어 주십시오 .

# 安全へのこころがけ










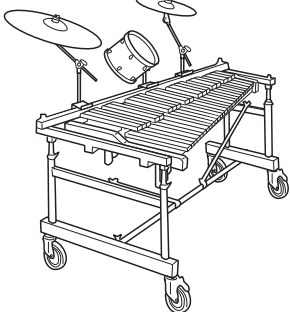
ご使用の前に、以下の指示と取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
 ラックおよびシロフォンの組み立て / 分解の際は、下記の注意を必ず守ってください。  
 特に小さなお子様には、最初にご家族の方、または指導者の方から取り扱い方法の指導をお願いいたします。

## 人身傷害の危険を防止するには ~以下の指示を必ず守ってください~

絵表示について

- この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。
- 絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。

- ⊘ 禁止の行為を告げるものです。
- ⚠ 注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
- ❗ 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

 <b>警告</b>		この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険のおそれがある内容を示しています。
<b>設置</b>  楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しない。 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。	 <b>楽器の組み立て / 分解は平らな場所で行なう。</b> ラックおよび楽器の組み立て / 分解やラックへのオプション楽器の取り付け / 取り外しは、床面が平らで丈夫な場所で行なってください。ぐらついた台の上や傾いたり段差があるなど、不安定な場所では転倒するおそれがあります。	
<b>取り扱い</b>  楽器にもたれかかったり、乗ったりしない。 楽器が倒れて、大けがをすることがあります。	 <b>ネジはしっかり締め付けて固定する。</b> 各部のネジは、位置が決まったらしっかりと締め付けて固定してください。ゆるんだ状態で使用すると、転倒、落下などの原因となります。これらのネジはご使用前に必ず締め直し、確認してからお使いください。	
 楽器のまわりで遊ばない。 楽器の転倒の原因にもなり、身体をぶつけてけがをすることがあります。	 <b>オプション楽器の高さ / 角度調整は取り外して行なう。</b> マーチングベルやチャイムなどの重量のあるオプション楽器の高さ調整や角度調整を行なう場合は、楽器を取り外してから調整をしてください。楽器を取り付けたままでの調整は、手や指を挟むなど、けがの原因となります。	
 地震の際は楽器に近づかない。 地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒するおそれがあります。	<b>移動の際の注意</b>  <b>楽器を押しながら走らない。</b> 楽器が止まらなくなって、壁にぶつかるなどして大けがをすることがあります。	
 RD500 には推奨楽器以外載せない。 RD500 は YX335 および YX500FT 専用のラックです。他の楽器を改造して無理に載せないでください。楽器が落下して大けがの原因となります。YX500R、YX500F は取り付けできません。	 <b>楽器を組み立てた状態で、階段の登り降りをして運ばない。</b> 部品が落下したり、バランスを崩して倒れたりして大けがの原因となります。必ず分解した状態で運んでください。	
 偏った位置にオプション楽器を取り付けない。 転倒やオプション楽器の落下の可能性があり大変危険です。オプション楽器取り付けの際は必ず専用クランプをご使用の上、バランスよく配置してください。ラックフレーム・ラックパイプの外側へバランス悪く配置すると、転倒のおそれがあります。	 <b>持ち上げて運ぶ際は、一人で行なわない。</b> 一人で持ち上げると楽器に挟まれたり腰を痛めるなど大けがの原因となります。必ず2人以上で、脚センターレール(5ページ)を両手で持って運んでください。 ※ YX500FT 単体の重量は 27kg、RD500 にセットした場合の合計重量は 60kg です。	
【バランスのよい取り付けの例】      【バランスの悪い取り付けの例】	 <b>キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面で、脚の上部をささえ、間口の方向へゆっくりと押す。</b> 傾いた所や凸凹のある道、じゃり道での移動は、楽器が倒れたり暴走する原因となります。	
		

## ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害を受ける危険のおそれがある内容を示しています。

<b>取り扱い</b>	<p>マレットは演奏目的以外には使用しない。 想定外の使用により思わぬけがや事故の原因となるおそれがあります。</p> <p>⚠ <b>組み立て時、手を挟まないよう、注意してください。</b> 指などが挟まれてけがの原因となるおそれがあります。特に脚と支柱、共鳴パイプのセット時には、2人で確認しながら作業してください。</p> <p>❗ <b>演奏中にゆるみが生じないように、蝶ネジ・蝶ナットはしっかり締める。</b> ゆるんだ状態で使用すると思わぬ動作により演奏に支障をきたしたり、運搬時に部品等が落下するおそれがあり、けがの原因となります。</p> <p>❗ <b>組み立ては取扱説明書を参照する。高さ調整は2人以上で行なう。</b> ラックの組み立ておよびシロフォンへの取り付け/取り外しは、必ず本取扱説明書の説明通りの手順で行なってください。誤った手順で組み立てると、作業中に部品が外れるなどして危険です。また、打面の高さ調整は、必ず2人以上で行なってください。やむを得ず一人でやる場合は、一回にスライドガイドの目盛2つ以内で調整してください(7ページ)。</p>
<p>⊘ <b>純正クランプを使用する。</b> ラックパイプのサイズに合わないクランプなどを使っの取り付けはしないでください。転倒、落下などの原因となり大変危険です。</p>	
<p>⊘ <b>シロフォンを取り付けていない状態ではスライドガイド調整ネジをゆるめない。</b> シロフォンを取り付けていないラックの状態または脚単体の状態では、絶対に脚のスライドガイド固定ネジをゆるめないでください(ただしガススプリングを取り外す場合を除く)。ラックフレーム(5ページ)が急上昇してケガや事故などの原因となり大変危険です。</p>	
<p>⊘ <b>オプション楽器の取り付け制限について</b> 取り付けるオプション楽器の総重量は18kgまでとしてください。これ以上の楽器を取りつけると全体の転倒や破損、オプション楽器の落下や破損の可能性があります大変危険です。</p>	
<p>⊘ <b>割れた音板には触らない。</b> 音板の割れ目は鋭利ですから、手などを切る危険があります。割れた音板はすみやかに交換してください。</p>	

## ガススプリング取り扱いに関する注意事項

ガススプリングの取り扱いにおいては、以下の注意事項を遵守くださいますようお願いいたします。

※ ガススプリングの取り外し方は、7ページをご参照ください。

<b>⚠ 注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害を受ける危険のおそれがある内容を示しています。
<b>取り扱い</b>	
⊘ <b>ガススプリング摺動部へは注油しない。</b> 注油するとシールの耐久性をなくし油漏れの原因となります。	
⊘ <b>衝撃を加えない。</b> 油漏れ、作動不良、破損の原因になります。	
⊘ <b>絶対に分解しない。</b> 高圧ガスが封入されていますので、分解すると非常に危険です。	
⊘ <b>曲げない。</b> 曲げ方向の剛性が少ないので、取付の精度によっては曲げ荷重の負担によりロッドが曲がり、作動不良の原因となります。	
⊘ <b>ぶついたりしない。</b> ピストンロッドおよびシリンダーに打痕を付けると、シールの寿命を縮めたり、作動不良の原因になります。	
⊘ <b>周囲の気温があまり高いまたは低い場所で使用しない。</b> 動作不良の原因になります。-20℃～50℃の範囲内でご使用ください。	
⊘ <b>雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所で使用しない。</b> 動作不良の原因になります。	
⊘ <b>側枠を無理に持ち上げ、ガススプリングを脚部から引き抜かない。</b> 動作不良、破損の原因になります。	

- 引張荷重がかかるとガススプリングは破損しますので、高い引張荷重がかからないように使用してください。
- 故障が起きた場合は使用を中止し、お買い上げの楽器店、または巻末の修理ご相談窓口へご連絡ください。

## ⚠ 危険

切迫した危険の状態、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性があります。

### 廃棄の際の注意

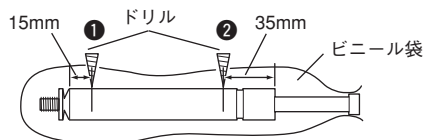
⚠ この製品は、窒素ガスが高圧で封入してあるため、ガスを抜かずに処理すると、爆発によりけがをすることがあります。

### 【禁止事項】

- ・押しつぶさない
- ・切断しない
- ・下図①、②部以外の場所に穴をあけない。
- ・火に入れない

### 【廃却手順】

1. ビニール袋をかぶせその上から2～3mmのドリルで①の穴をあけ、ガス・油を抜いたあと②の穴をあけてください。(必ず①、②の順を守ってください)
2. ビニール袋を使用しない場合は、油や切粉が飛び出しますので充分注意してください。(この場合はメガネをかけて作業してください)



\* 上図の要領で穴を開けガス抜きをしてから、廃却してください。

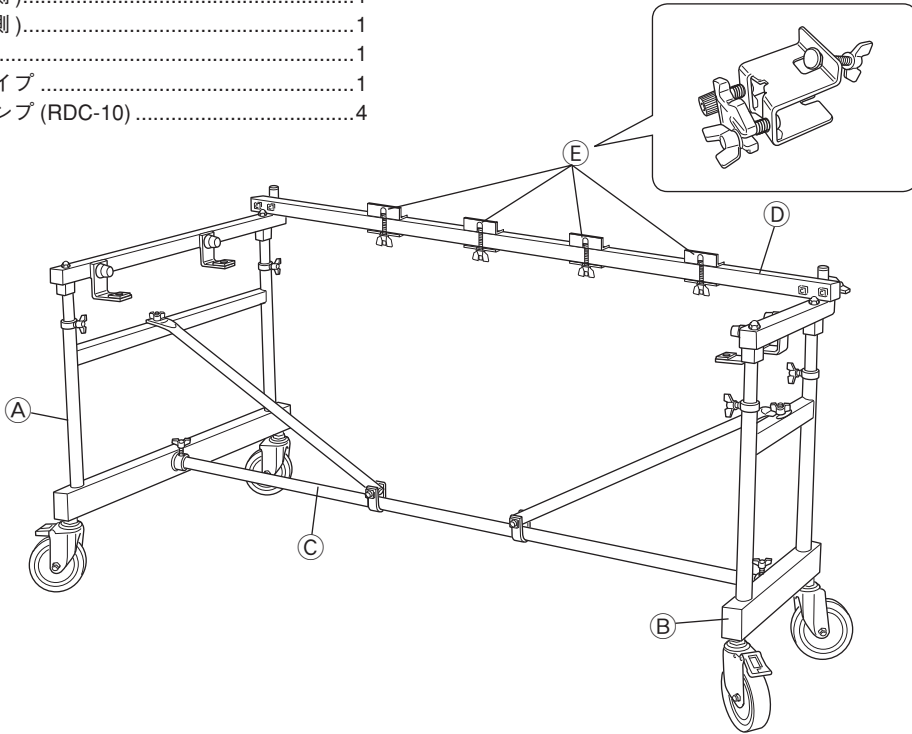
# 部品の確認

ラックを組み立てる前に、下の部品表をご覧になり、すべての部品が揃っていることをご確認ください。

※ 部品が不足している場合は、お買い求めになったお店へご連絡ください。

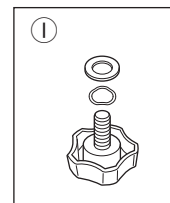
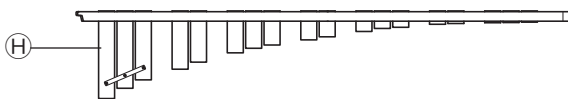
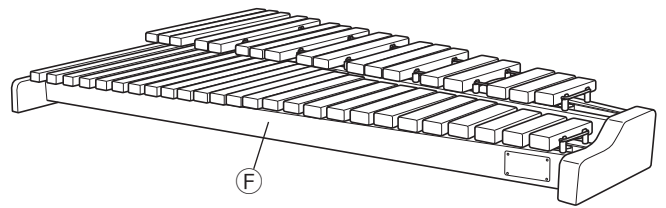
## ● RD500 (ラック単体)

- ① 脚 (低音側).....1
- ② 脚 (高音側).....1
- ③ 支柱.....1
- ④ ラックパイプ.....1
- ⑤ 専用クランプ (RDC-10).....4



## ● YX500FT (本体セット)

- ① 楽器本体.....1
- ② 共鳴パイプ (幹音側).....1
- ③ 共鳴パイプ (派生音側).....1
- ④ 楽器取付用ボルト / バネ座金 / 平座金.....4set



# 組立手順

まずマルチパーカッションラック (RD500) を組み立て、その後で楽器本体 (YX500FT) を取り付けていきます。



**安全のため、マルチパーカッションラックの組み立ておよび楽器の取り付け作業は、必ず2名以上の大人で、十分スペースのある場所で行なってください。**

**1** 脚 (低音側) ① の脚土台にある連結用穴に、くぼみを上面にして支柱 ③ のパイプ部を止まるまで差し込み、蝶ネジを締めて固定します。

\* 支柱の取り付け向きにご注意ください。接続部にはそれぞれアルファベットの文字が記してあります。《下図 ※ 参照》

**2** 脚 (低音側) ① の脚センターレール部にある蝶ナット / バネ座金 / 平座金を外し、ネジ部に支柱 ③ のサポート部先端のコの字部分を差し込み、さきほどの蝶ナットでバネ座金 / 平座金を締めて固定します。

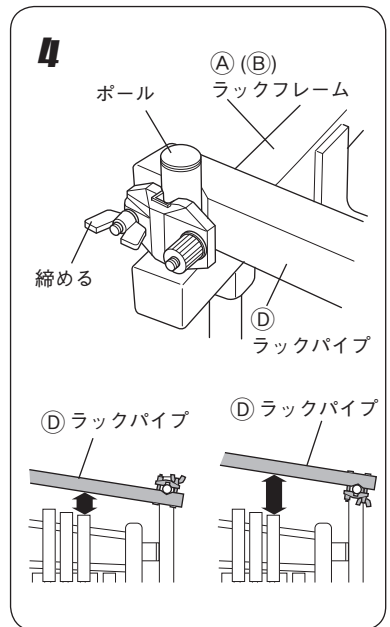
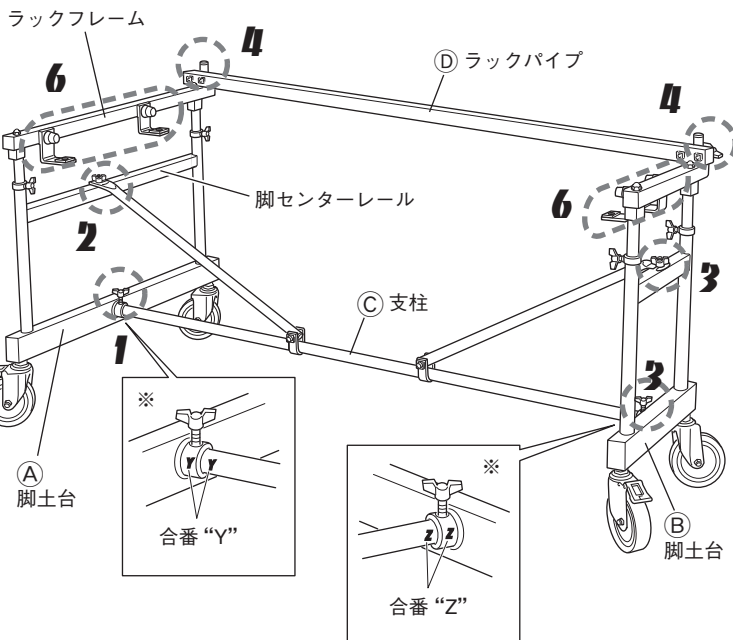
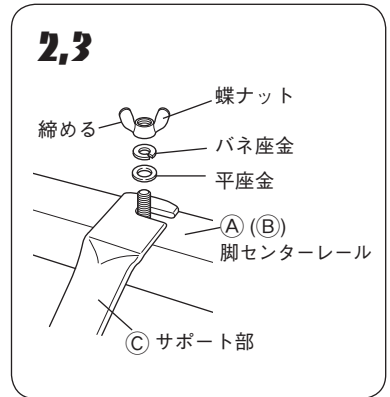
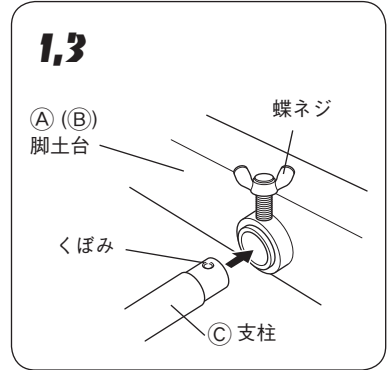
**3** 脚 (高音側) ② も同様に、支柱 ③ (パイプ部およびサポート部) と接続します。

**4** ラックパイプ ④ 両端のクランプネジをゆるめ、脚上部のポールをクランプではさみ、クランプネジを締めて固定します。

ラックパイプは、クランプのある面を奏者側にしても聴衆側にしても取付可能です。ラックパイプと音板との距離を考えて、お好みの向きで取り付けてください。

\* ラックパイプのヤマハロゴが上下逆にならないように取り付けてください。

**5** すべてのネジをしっかりと締めて固定します。  
これでマルチパーカッションラックの組み立ては完了です。





次に楽器本体をラックに組み付けます。

\* 取り付けの際、共鳴パイプをラックのステーなどに当てないように注意してください。

**6** 側枠底面のネジ穴がラックの側枠取付用アングルの穴位置に合うように、楽器本体 (F) をラックに載せます。その際、側枠の側面 (外側) にある白いマーカ\* を位置合わせの目安にしてください。マーカが側枠取付用アングルの中央にくるように配置します。

\* YX335 には白いマーカはありません。

**7** 楽器に付属のボルト / 平座金 / バネ座金 ① を使って、ラックの下側から楽器をネジ止めします (4ヶ所)。

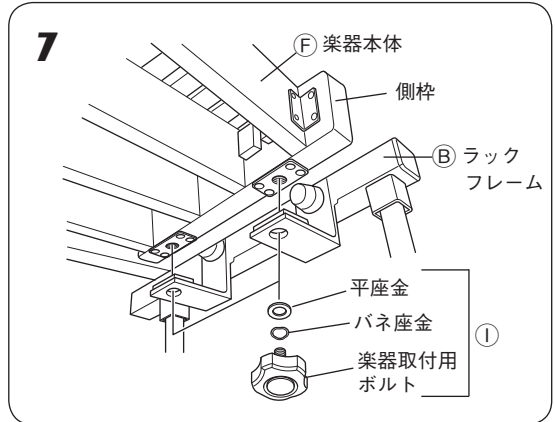
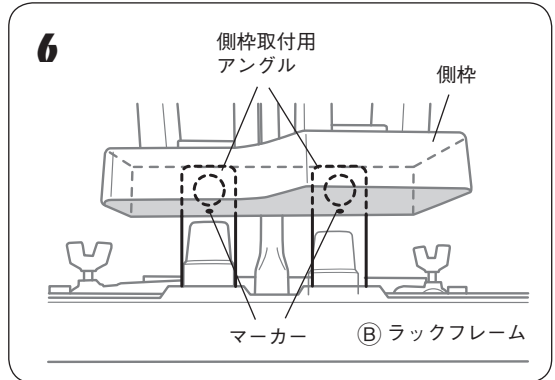
**8** 楽器の下側から共鳴パイプを差し込み、高音側をパイプ受けゴムに載せます。

**9** 次に低音側をのせます。下図のようにパイプ受けゴム中央の溝を下側から通って上側に抜けた後、パイプ受けゴムの溝にはめこみます。

演奏する部屋の室温が 23℃ 以上の場合はパイプ受けゴムの浅い溝に共鳴パイプをセットします。(下図 A)

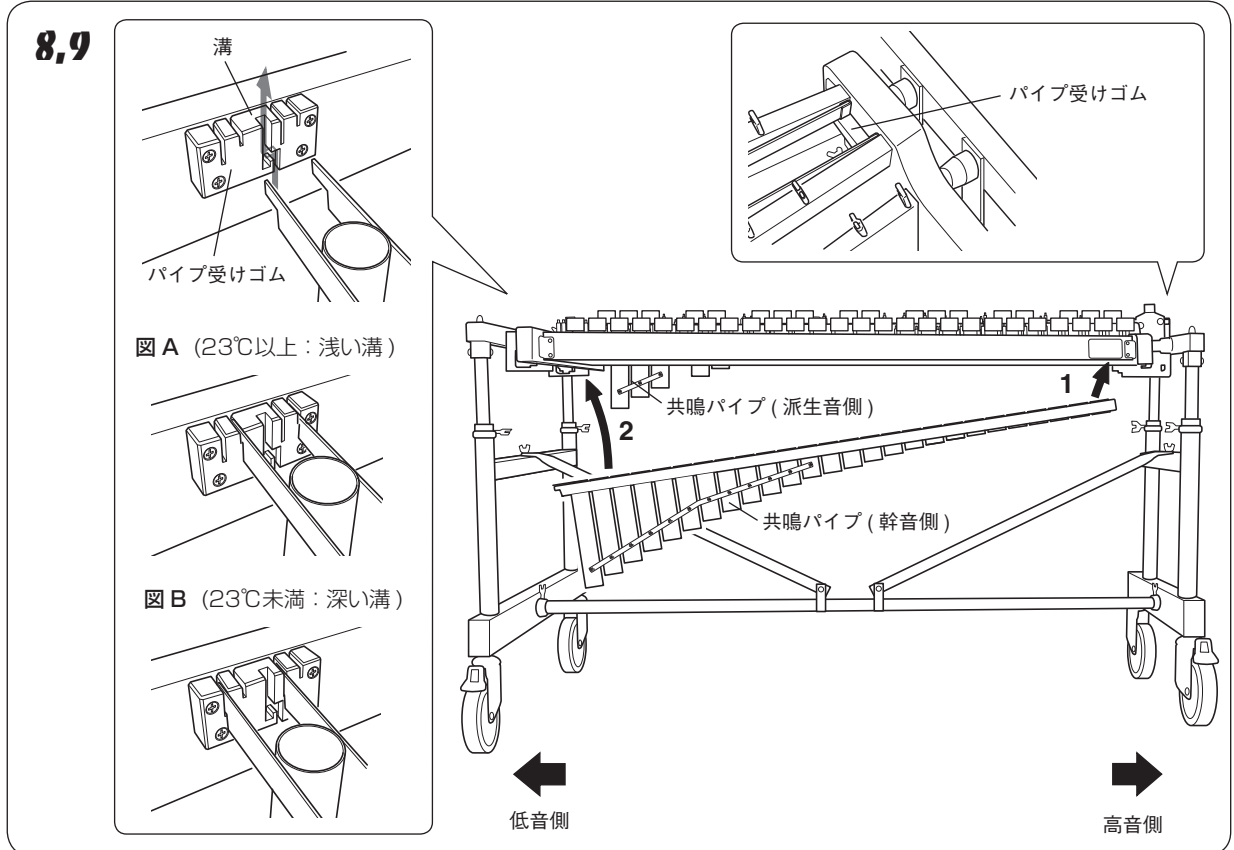
演奏する部屋の室温が 23℃ 未満の場合は、パイプ受けゴムの深い溝に共鳴パイプをセットします。(下図 B)

**10** もう一つの共鳴パイプも同様にして取り付けます。



**組み立てが完了したら、すべてのネジをしっかりと締めて固定します。**

**!** 分解は必ず組み立てと逆の手順で行なってください。



## 音板（打面）高さの調整

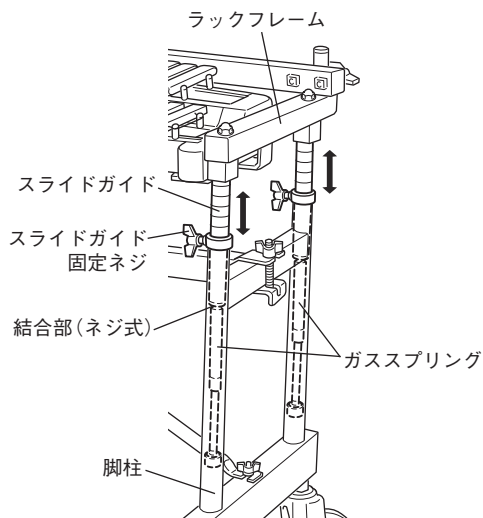


シロフォンを取り付けていないラックの状態または脚単体 (A, B) の状態では、絶対にスライドガイド固定ネジをゆるめないでください。



打面の高さ調整は、必ず2人以上で行なってください。やむを得ず一人で行なう場合は、一回にスライドガイドの目盛2つ以内で調整してください。

1. 低音側、高音側共にラックフレームを手で支えながら、スライドガイド固定ネジをゆるめます。
2. ガススプリングにより自動的に楽器が上昇します。希望する高さに合わせて、スライドガイド固定ネジをしっかりと締め付けます。スライドガイドの線を目安にして、音板が床面と水平になるように調節してください。



## ガススプリングの取り外し方



ガススプリングは、修理・廃棄時以外は取り外さないでください。

1. 楽器を載せた状態でスライドガイド固定ネジを4カ所すべてゆるめ、ラックフレームが上がりきったところでスライドガイド固定ネジを4カ所すべて締めます。(以下、各部品名称は上図をご参照ください。)
2. 楽器を分解して脚単体の状態にします。(5～6ページの組立手順と逆の手順で分解してください。)
3. スライドガイド固定ネジを2カ所ともゆるめ、脚柱からスライドガイド部を上側へ引き抜きます。
4. スライドガイドの下部に取り付けられたガススプリングを、ゆるめて取り外します。

\* 二つの部品の結合部はネジ式になっています。

## 仕様

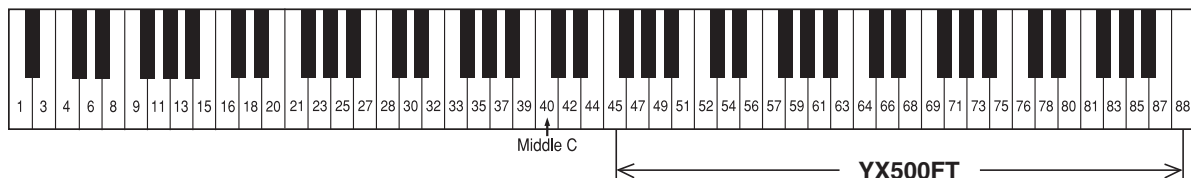
### ■ RD500

- 高さ調整 ガススプリング方式  
85～100 cm  
(YX500FT 搭載時：派生音板  
高さ 83～98 cm)
- キャスター径 (mm)  $\varnothing 150$
- 寸法 (間口 × 奥行) 164 × 107 cm  
(全奥行 キャスター含む)
- 質量 33 kg

### ■ YX500FT

- 音域  $F_{45} \sim C_{88}$  (3-1/2 オクターブ)
- 基準ピッチ 442 Hz
- 音板材 アークスタロン (FRP) ・ ブラウン色ウレタン塗装
- 音板幅・厚さ 38.1 mm / 23 mm
- 共鳴パイプ スチールパイプ ・ ライトゴールドアクリル系焼付塗装
- 枠 プナ材 ・ 黒色エナメル艶消塗装
- 寸法 (間口 × 奥行 × 高さ) 137.5 × 75 × 31 cm
- 質量 27 kg

### ■ 音域表



※仕様および外観は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

